

## 防災訓練を行いました

5月20日(水)、今年度1回目の防災訓練を実施し、非常時の対応について、職員が再確認をしました。

伊達地方消防組合中央消防署西分署の消防隊員の方が見守る中、2階なごみ病棟からの出火を想定し、職員約100名が通報、避難誘導、消火活動などを行いました。



伊達地方消防組合中央消防署西分署の佐藤達也副分署長からは、『いつおこるかわからない災害には日ごろからの訓練が重要、繰り返し訓練を行い、災害に備えることが大切です』との講評をいただきました。

今後も、防火防災への意識向上に努め、患者様の安全を守るために、緊張感を持って、定期的に防災訓練を行って行きます。



屋上から救助袋を使った避難実技演習や、消防隊員から消火器の使用法の指導を受け、訓練用の水消火器で初期消火を実践いたしました。

木村秀夫院長より『まずは火災を出さない努力を、そしていざという時のために訓練に参加を』と訓示がありました。



## CONTENTS



新人看護師研修の様子

|                |   |
|----------------|---|
| 防災訓練を実施        | 1 |
| 放射線技術科のご紹介     | 2 |
| 学術奨励賞論文賞表彰のご報告 | 2 |
| 看護の日のイベント開催    | 3 |
| お知らせ           | 3 |
| 栄養科より          | 4 |
| 皆様の声を          |   |

## 放射線技術科をご紹介します

### 画像センター・放射線治療センターのご紹介

日頃から、当院の放射線・MR機器をご利用いただき、ありがとうございます。放射線技術科のスタッフは、放射線科医師2名、診療放射線技師21名、医学物理士1名、看護師1名、事務2名です。主な検査について紹介いたします。

#### 画像センター

##### <MRI検査>

2014年11月に3T-MRI、2015年3月に1.5T-MRI装置を更新し、最新の装置になりました。更新に伴って検査時間が短縮し、迅速な検査対応が実現しました。また、体幹部領域や四肢 関節領域の検査が今まで以上に充実しました。

##### <CT検査>

低線量で診断能の高い画像を提供できる64列CT装置を設置しております。断層画像の他に、診断に有用な3D画像や仮想内視鏡画像などを構築することが可能です。

##### <RI検査>

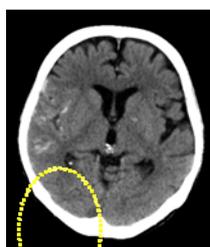
放射性薬剤を利用し、様々な検査をおこなっています。下記は認知症の診断のため、脳血流シンチグラフィを行った症例です。



新3T-MRI装置



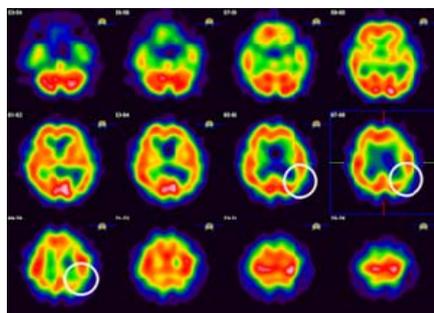
膝関節MRI画像



クモ膜下出血



腹部(大腸)3D-CT画像

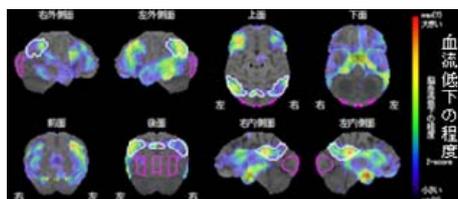


脳血流SPECT画像(通常の脳血流画像)

#### 【脳血流シンチグラフィ】

脳の形態をみるエックス線CTやMRIではとらえられない早期脳血流障害の検出、神経症状の責任病巣の検出、脳の機能評価などに有効

- ・○の部分の血流低下が確認できます。
- ・この画像で低下の程度を客観的にとらえるのは少々困難です。下の統計解析も補助診断として利用します。



統計解析

#### <統計解析結果>

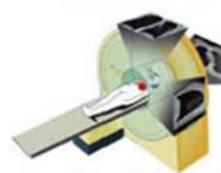
- ・白い枠の領域の血流低下が考えられます。
- ・この症例は、アルツハイマー型認知症として、大きく矛盾しない結果です。

#### 放射線治療センター

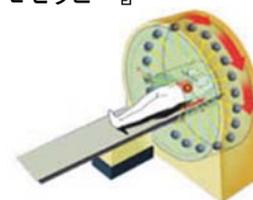
##### <放射線治療>

強度変調放射線治療 (IMRT) の専用機である「トモセラピー」を導入しています。治療機本体にCT撮影が出来る能力を有し、精度の高い臓器の位置合わせと寝台を移動させながらX線を360度方向から照射する強度変放射線治療が特徴です。正確な位置合わせ・複雑な病巣への治療・複数部位への治療が可能になりました。従来技法より、高い線量を均一に病巣に集中させ、隣接する危険臓器への線量を下げ、放射線による副作用を抑えながら放射線治療が行えます。

#### 放射線治療装置『トモセラピー』



腫瘍の位置を正確に把握



照射口の回転・人体移動で複数の箇所への照射が可能に

## 学術奨励賞論文賞の表彰を受けました

平成27年5月23日に開催された（公社）福島県診療放射線技師会総会において、当センター放射線技術科の診療放射線技師高橋大輔が平成27年度学術奨励賞論文賞に選定され、表彰状を授与されました。

該当した論文は、公益社団法人日本放射線技術学会平成26年7月号に掲載された「MPG先行パレスを用いた拡散強調撮像法における撮影パラメータと拡散強調効果について」です。



## 看護の日のイベントを開催しました

5月11日（月）に『看護の日』のイベントをオーチャードホールにおいて開催しました。「こころまで、看（み）る」をテーマに、看護師による健康チェックや管理栄養士による栄養相談、薬剤師による薬に関する相談などのコーナーを開設しました。



健康チェックコーナーでは、看護師が身長・体重、血圧、体脂肪測定などを実施



### 老化予防の食事

～シミなし・シワなし・たるみなし～

と題して、管理栄養士が何をどのように食べたらよいのかなどお話ししました



リハビリテーション科では、理学療法士が腰痛予防体操や女性に多い『尿もれ』について予防する運動などをアドバイスしました

## お知らせ

●6月27日（土）10:30より『京都大学合唱団同窓会』ミニコンサートをオーチャードホールで開催します。入院患者様とご家族、そして地域の皆さんへ歌のプレゼントです。お気軽にご参加ください。

### ＜保原中央クリニックでは＞

- 糖尿病教室 6月19日（金）10:30～11:30  
『足の爪切り出来ていますか？ 切り方間違っていないですか？』  
日本糖尿病療養指導士がお話しします。
- ふれあいの日 6月16日（火）10:00～12:00  
『石鹸をデコって水まわりを華やかに！！』（有料300円）



## 栄養科 5月の行事食

### 5月5日子供の日に「端午の節句お膳」を患者様にお届けしました。

男子の健やかな成長を願い、お祝いのお膳を患者様に召し上げて頂きました。

献立は、青豆ごはん・花麩のおすまし・銀たらの照り焼き・蟹豆腐の葛あん・香の物。そして柏餅です。そこで節句に何故柏餅を食べるのでしょうか？

答えは「新芽が育つまでは、古い葉が落ちない柏の性質が、子孫繁栄（家系が絶えない繁栄）に通じる」とされているからです。

「食後に甘いお菓子はたまらない」「季節感をうん～と感じました」など嬉しいお話がたくさん聞くことができた1日となりました。



## 皆様の声を

当院では、皆様からのご意見・ご要望などをお寄せいただき、より良い病院作りをして参りたいと考え、正面玄関・病棟入口・各病棟談話室に「ご利用者の声箱」を設置しております。

お気づきのことがございましたら、ご遠慮なくご意見をお寄せ下さい。投稿されたご意見に関しましては、患者相談窓口で記録・保管し、関係部署に報告をして、検討、改善に努めております。

「ご利用者の声箱」にお寄せいただいた食事に関するお褒めの言葉を今回は掲載させていただきます。

【ご意見】（平成27年5月、入院された40代の方から）

お食事の見た目や味に工夫されていて、患者に元気を与えてくれていました。

【回答】

このたびは、貴重なご意見ありがとうございます。

今後も、患者様からの感謝の言葉や笑顔を糧に、安心・安全な食事の提供に努めてまいります。



## ●経営理念●

笑顔を咲かそう。

豊かな「人間性」と、高い「専門性」で、お客様と職員の「幸せ」という花を咲かそう。

## ●ブランドメッセージ●

皆様とともに

「仁泉会」は、多様な医療・介護施設を擁し、お客様の誕生から晩年までをサポートしている「公益財団法人」です。

医療・介護分野としては、福島県第一号の認定であり、「地域への貢献」が評価され、信頼されている証です。

私達は「豊かな人間性」と「高度な専門性」をさらに追求し、すべては、皆様の健康と幸せを創造するために、努力し続けます。

## 北福島医療センター 理念

私たちは、質の高い医療を提供し、地域に信頼される病院を目指します。

北福島医療センター 「リエゾン」編集係  
TEL 551-0551 FAX 551-0808

E-mail jmo@jinsenkaï.or.jp  
URL http://www.jinsenkaï.or.jp